

令和元年度9月補正予算の主な事業

参 考 資 料

徳 島 県

目 次

	頁
1 安全・安心とくしまの実装	
(1) ⑨ 高齢者安全運転サポート事業	1
(2) ⑨ 外国人患者のための医療機関多言語対応支援事業	2
(3) ⑨ 越境性動物疾病防疫対策強化事業	3
(4) ⑨ 消防広域化推進支援事業	4
(5) ⑨ 低空飛行騒音測定器設置事業	5
(6) 警察署再編整備事業	6
(7) 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業	7
2 革新創造とくしまの実装	
(8) ⑨ 5Gが拓く地域の未来発信事業	8
(9) ⑨ 5G先取り！VR活用広報戦略事業	9
3 魅力感動とくしまの実装	
(10) ⑨ 県立博物館新常設展構築事業	10
(11) ⑨ オリンピック・パラリンピック教育推進事業	11
(12) 「とくしまマラソン2020」の開催に向けて とくしまマラソン支援事業 ⑨誰もが主役！とくしまマラソン魅力アップ事業	12
(13) ⑨ 「徳島 木のおもちゃ美術館（仮称）」構想について ⑨「徳島 木のおもちゃ美術館（仮称）」整備推進事業	13

新 高齢者安全運転サポート事業

【令和元年度9月補正予算額 32,000千円】

現 状

「高齢ドライバーの操作ミス」による痛ましい事故が
全国で相次いでいる

4/19池袋で、高齢者が
運転する自動車が暴走し、
12人が死傷

6/4福岡で、交差点に猛ス
ピードで自動車が突入し、
高齢運転者とその妻が死亡



国の緊急対策（6/18関係閣僚会議決定）

・高齢者の安全運転を支える対策の更なる推進
→既販車への後付けの安全運転支援装置の普及

踏み間違い事故の
約40%は高齢者

本県においても…

6/24県立中央病院で、
高齢者が運転する自動車
が玄関ガラス壁に衝突

6/28藍住町で、高齢者が
運転する自動車が
コンビニエンスストアに衝突

9月補正

高齢運転者等交通事故防止対策プロジェクトチーム会議

→後付けの安全運転支援装置の有効性と汎用性を検討(7/2、8/7)



業者による説明



装置設置公用車の見学



実車での質疑応答

方針

- ・装置は有効であり、汎用性もある
- ・装置設置を契機に、安全運転を意識する仕組みづくりが必要

後付けの安全運転支援装置補助制度の創設

安全運転支援装置の普及を図るため、
その設置に要する経費の一部を補助する



安全運転支援装置

概 要

- ・補 助 率:自己負担額の1/2
- ・補助上限:5万円
- ・対 象 者
70歳以上の高齢運転者で
安全運転自主宣言を実施した者



安全運転自主宣言

高齢運転者が自分の運転を振り返り、**今後も安全に運転するための目標**を定めて実行

安全運転自主宣言

私は安全運転のため、
次のことに気をつけます。

- ・悪天候の日は運転を控えます。
- ・夜間はできるだけ運転を控えます。
- ・ゆとりをもった運転計画を立てます。

以上のとおり宣言します。

令和元年〇月〇日
氏名 阿波 太郎

※イメージ

帰りが遅くなったね
夜道の運転は疲れた
たでしょう

夜道の運転は、
できるだけ控
えるよ

明日のお出かけは、余裕をもって
早めに出発するね

安全運転
してね

高齢運転者による交通事故の発生を抑止し、安全・安心とくしまを実現

新 外国人患者のための医療機関多言語対応支援事業

【令和元年度9月補正予算額 7,300千円】

背景

- 改正出入国管理法施行
- 東京オリンピック・パラリンピック開催(2020)
- ワールドマスターズゲームス関西開催(2021)

在留外国人・
訪日外国人の
増加

課題

外国人患者
の増加

体制整備

安心・安全に医療を受けることができる
体制の整備

情報発信

外国人患者に対応可能な医療機関の
周知

国の対応

- 外国人患者を受け入れる医療機関の情報を取りまとめ、ホームページで公開
- 都道府県は「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」を選出



国の対応に呼応し、取組みを推進

事業概要

体制整備

- 「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」に翻訳機(タブレット端末等)の配備に係る経費を補助し、多言語対応を支援

情報発信

- 県内の外国人患者受入医療機関リストを中国語ほか複数言語で作成し、県ホームページにおいて公開



外国人患者に対する医療提供体制の充実・強化!

担当：医療政策課

新 越境性動物疾病防疫対策強化事業

【令和元年度9月補正予算額 6,000千円】

事業の目的

国内において拡大している「豚コレラ」や、近隣アジア諸国で猛威を振るう「アフリカ豚コレラ」など、越境性動物疾病の県内及び県内農場への侵入とまん延を防止するため、多段階での防疫体制を構築するとともに、県内発生時に備えた即応体制を強化する。

事業の背景

○ 国内で豚コレラが拡大中

(令和元年8月22日現在)

★飼養豚：殺処分頭数 約13.3万頭

(岐阜、愛知、三重、福井、滋賀、大阪、長野)

○ 野生いのしし：感染頭数1,014頭

(令和元年8月22日現在)

(岐阜、愛知、三重、福井、長野、富山)

○ 農場へのウイルス侵入に野生鳥獣関与の可能性

○ 訪日外国人の携行食肉製品から「アフリカ豚コレラウイルス」検出

★検出件数 63件
(令和元年8月22日時点)



侵入リスク増大

事業の概要

1 多段階防疫対策強化

農家数：23戸
飼養頭数：39,600頭

水際対策

国の対策

国際線出口での靴底消毒

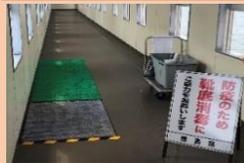


農場対策

野生いのしし侵入防止柵の整備に対する助成



空海港での靴底消毒



国との連携による防疫キャンペーン実施



養豚農場におけるネズミや野鳥等侵入対策強化



県の対策

2 県内発生時に備えた即応体制の強化

殺処分に必要な「電殺機」の整備



防疫体制・即応体制を強化 本県畜産業を守る！

新 消防広域化推進支援事業

【令和元年度9月補正予算額 4,000千円】

「徳島県消防広域化推進計画」改定(H31.3)

将来の広域化を見据え

消防通信指令センターの一本化（共同運用）

「通信指令センター導入シミュレーション」の実施

- 住民サービスの向上効果
- 導入・維持管理コスト
- 効率的な人員配置 等

メリット等を市町村に提示

導入に向けた具体的な検討

全国初

都道府県単位での一元指令

通信指令センターの高度化



リアルタイム情報共有

5G・IoTを実装した「次世代・高度通信指令センター」を提案

住民サービスの向上

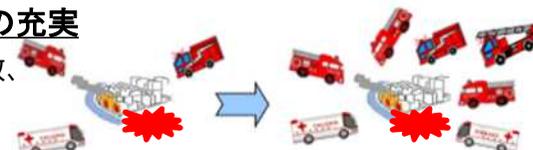
一元的なオペレーション

- 現場到着時間の短縮
 - ・消防本部の垣根を越えた直近指令



○初動の消防力の充実

- ・大規模火災や事故、特殊災害にも対応可能



効率的な人員配置

- 新たな部隊の増強
 - ・NBC部隊、高度救助隊等



大規模災害への対応強化

○応援・受援体制の強化

- ・迅速な県内応援
- ・早期の受援体制の確立



消防力の強化（消防広域化）により、県民の「安全・安心」を確保！

担当：消防保安課

新 低空飛行騒音測定器設置事業

【令和元年度9月補正予算額 3,000千円】

本年度の目撃情報が大幅に増加

	R元	H30	H29
目撃日数 (7月末現在)	18日	5日	2日
年間		19日	12日

学校や住宅地上空での目撃情報も

県南沿岸の住宅エリア上空を飛行測定を開始して以来、最大の**104.9dB**を記録

会話の声も聞こえない

国へ要請

目撃情報の都度
外務省・防衛省へ
中止の要請



目撃情報の増加を受け
緊急要請

R元.6.7 中国四国防衛局

さらに強く国へ要請

- ◆ 騒音データの追加
⇒ 測定ポイントの新たな設定
(現在、牟岐・海陽の両庁舎に設置)
- ◆ 一層の客観的データの追加
⇒ 県民から動画や写真なども収集

- データのさらなる活用
- 強力に国へ要請

周辺住民の不安を解消するための取組み

騒音測定器のさらなる増設 ～国への要請活動の基礎データの追加～

オレンジルート※上のすべての市町に設置
新たに三好市、那賀町、海陽町山側に設置

騒音測定器設置場所

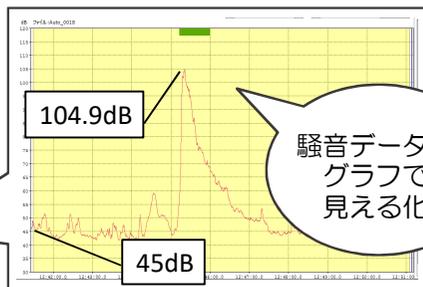


新たな設置ポイント

騒音測定器



最大値を測定した実際のデータグラフ



騒音データを
グラフで
見える化

- ◇ 24時間常時測定
- ◇ 測定データをグラフで表示
- ◇ 最大値の騒音を自動録音

※米軍が日本国内に設定している航空機の飛行訓練ルートのひとつ

県民との情報共有

県HPによる情報共有

- ◆ 県民へのさらなる情報提供呼びかけ
目撃情報、映像データなど
- ◆ 専用サイトの創設
リアルタイムで情報共有



オスプレイ (那賀町提供)

- ◇ 日時
- ◇ 場所
- ◇ 機数
- ◇ 高度
- ◇ 音の大きさ
- ◇ 国への要請状況
など

動画や写真を
迅速に提供!

新たなデータを追加し、要請活動の強化

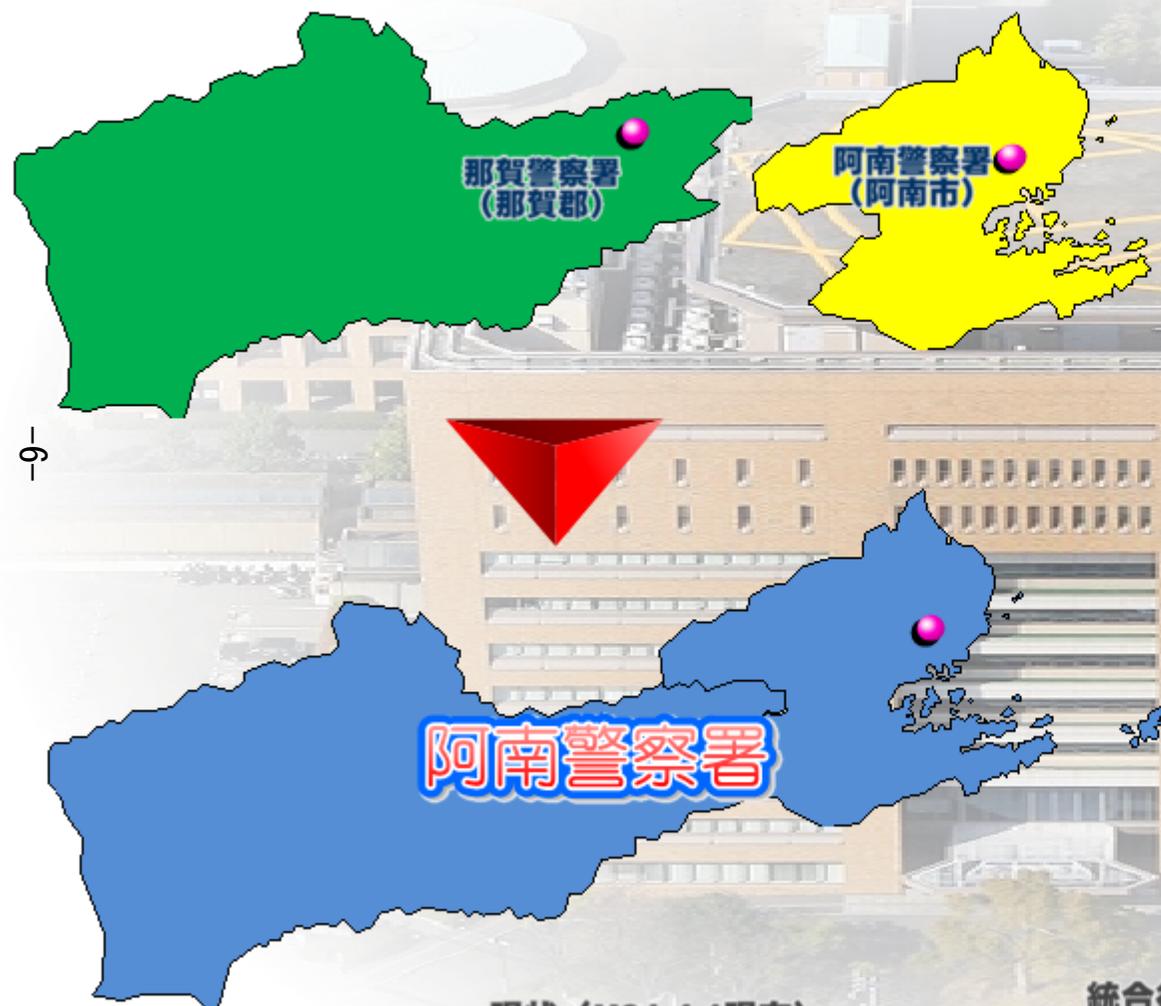
安心・安全なくらしの実現!

担当: 総務課

警察署再編整備事業

【令和元年度9月補正予算額 12,219千円】

徳島県警察では、治安情勢の変化等に的確に対応するため、令和2年4月、「**阿南警察署**」と「**那賀警察署**」を統合し、治安・防災対策の強化を図ります。



Concept

- **初動捜査体制の強化**
当直体制の強化、パトカー等の複数運用により、事件・事故に対し、迅速・的確に対応し、早期解決を図る。
- **県南部地域における災害対処能力の強化**
南海トラフ巨大地震等の災害に備え、那賀庁舎を**県内初の幹部交番**とし、県南部地域における**災害時の活動支援拠点**として、災害装備資機材等の充実に図る。



現状 (H31.4.1現在)
阿南警察署 警察官：約80人
那賀警察署 警察官：約20人

統合後
警察官：約100人体制
交番：3力所
駐在所：13力所

地域介護・福祉空間整備等施設整備事業

【令和元年度9月補正予算額 33,660千円】

1 目的 災害時における高齢者施設等の安全確保と機能維持のため、「非常用自家発電設備の整備」及び「ブロック塀の安全対策の強化」を実施する事業者に対し、支援を行う。

2 背景 H30大阪府北部地震によるブロック塀倒壊、北海道胆振東部地震による大規模停電等を受け、国は「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」による第二次補正予算を編成し、非常用自家発電設備の整備やブロック塀の改修支援をメニューに追加（H31.2）。
これを受け、本県でも、31年2月補正予算において既に「10施設」に対する補助を実施。

3 事業内容 (1) 非常用自家発電設備の整備 53施設 15,900千円

対象施設	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、 軽費老人ホーム、養護老人ホーム、 介護医療院	補助率	国1/2、事業者1/2 (上限459万円)
------	--------------------------------------------------	-----	--------------------------

(2) ブロック塀の安全対策の強化 15施設 17,760千円

対象施設	特別養護老人ホーム等((1)の対象施設)、 有料老人ホーム、老人デイサービスセンター 等	補助率	国1/2、県1/4、事業者1/4
------	----------------------------------------------------	-----	------------------

4 今後の方針等 国の交付金を活用し、引き続き安全確保に向けた整備を促進する。

新 5Gが拓く地域の未来発信事業

【令和元年度9月補正予算額 10,000千円】

高性能・高機能により 5Gは21世紀の基幹インフラへ

2020年春
本格サービス開始

超高速
超低遅延
多数同時接続

最高伝送速度10Gbps
1ミリ秒程度の遅延
100万台/km²の接続機器数

4Gの10倍

4Gの1/10

4Gの30-40倍

地域課題解決、地方創生の 実現に向けて

① 5G活用動画制作

5Gで地域のさまざまな課題を解決する
「利活用イメージ」を映像でPR



自動運転



遠隔医療



遠隔授業

(総務省HP、文部科学省HPから引用)

② 5G体感イベントブース



イベント等で来場者が5Gを疑似体験
できるブースを出展

携帯3社に
よる展示

地域の課題解決ツールとしての利活用に向け、県民機運を醸成

5Gが創り出す近未来イメージを発信し、課題解決を加速

担当:地域振興課

新5G先取り！VR活用広報戦略事業

【令和元年度9月補正予算額 6,600千円】

背景

・2020年「5G」の実装 ・VR動画がより重要なコンテンツに！

目的

職員自らがVR動画を制作し、県内外そして海外へ情報発信を行う環境を整え、5G社会を見据えた広報を展開する。

高速
大容量

低遅延

同時
多接続



人材
育成

魅力
UP!

県民
実感

VR動画制作 ワークショップ

- 職員が撮影！
コンテンツの**充実強化**
- VR動画の活用方法を研究
- 情報発信力の強化！**



動画サイトの強化

- 県ホームページを改修し
動画を“魅せる”つくり！
- 徳島の自然・文化・体験を
VR動画で**世界へ発信**
- VR動画を
新たな広報ツールに！

5G先取り！体感！VR

- 新たな技術を積極活用！
- 県内イベントで
VRを体感！
- 5G・VRを
身近な存在に！**



新たな技術を応用・実践

より早くVRを体感！5G社会を実感！

徳島発！輝く
むらのたから



担当：秘書課

新 県立博物館新常設展構築事業

基本方針

徳島まるづかみ! —“いのち”と“とき”のモノがたり—

【令和元年度9月補正予算額 4,000千円】

昔・今・未来のとくしま

新常設展のポイント

見て、触れて、感じる
「とくしま」遊山

徳島まるづかみ展示

- ・徳島の自然と歴史文化「徳島セクション」
- ・徳島へのいざない「徳島コレクション」
- ・恐竜化石調査の最前線「徳島恐竜コレクション」
- ミュージアムストリート(回廊)

ユニバーサル化

■プッシュ通知式ガイド

- ・多言語解説(日・英・中[簡体・繁体]・韓)
- ・音声解説 ・手話解説

■新スタイルの展示解説

- ・よみときライン(解説用システム)
- ・問いかけグラフィックなど

■快適な設備

- ・授乳スペース、オストメイト対応トイレ

参加体験型展示
の充実

■豊富な体験メニュー

- ・異空間体験「仮想“どこでもドア”」
- ・「タッチパネル式透明液晶表示システム」
- ・家族で楽しめる「ドーム型VRシアター」
- ・実物と映像・情報を結ぶ「AR“虫眼鏡”」

交流の促進

■コミュニケーションゾーン

- ・レファレンス機能、ミニワークショップ、利用者の意見集約など

■県民コレクションコーナー

- ・県民の調査研究成果を発信

■子ども遊山コーナー

スケジュール

※完成イメージ



担当:文化の森振興本部

新 オリンピック・パラリンピック教育推進事業

【令和元年度9月補正予算額 2,700千円】

【目的】

オリンピック・パラリンピックへの関心を高め、徳島との関係を実感できるオリパラ教育を通じ、スポーツの価値を再認識するとともに、国際・異文化理解や共生社会への理解を深める。



【事業内容】

徳島県教育委員会

〈オリパラ教育推進委員会（仮称）〉

- ・ オリンピック・パラリンピックの意義や歴史、徳島との関係を学ぶことができる**学習テキストの作成**
- ・ オリパラ教育推進校を対象とした**セミナーの開催**
- ・ オリパラ教育推進校の実践を紹介する**ワークショップの開催**

（全国中核拠点）
筑波大学
スポーツ庁

オリパラ教育推進校

〈小・中・高・特別支援学校対象〉

- ・ オリンピック・パラリンピック種目の**体験**
- ・ 有名選手（オリンピック・パラリンピアン等）との**交流**
- ・ オリンピック・パラリンピックの意義や歴史、徳島との関係を学ぶ**授業**



県内すべての公立学校へオリパラ教育の普及・拡大

「とくしまマラソン2020」の開催に向けて

【令和元年度9月補正予算額 51,500千円】

ランナーから寄せられた意見を反映し、「ランナー目線」でさらに質の高い大会運営を行うとともに、多くの方が参加できる多彩なイベントを開催することにより、大会の魅力アップを図り、県内外からの参加を促進する。

とくしまマラソン支援事業【30,000千円】

開催日時

2020年3月22日(日) 9:00スタート

募集定員

15,000人(うち海外枠300人)

コース

とくしまマラソンコース(日本陸連公認、IAAF/AIMS公認)



「競技性の向上」及び「ランナー目線」で大会運営をブラッシュアップ

- より安全で快適なスタートの実現
 - ・先頭ブロックから出走可能なアスリート枠の拡大1,000人→1,300人
 - ・サブ3を応援する「SSブロック」の創設
- ランナーのさらなる利便性の向上
 - ・エントリーの負担軽減
(アスリート枠申込時の記録証添付を既出場者に限り省略化)
 - ・参加者名簿、記録証(速報版・確定版)のweb発行
- マラソンチャレンジカップ(MCC)への参加
 - 1億円アワード(日本記録更新者)、市民アワード(大会記録更新者)

新)誰もが主役!とくしまマラソン魅力アップ事業【21,500千円】

障がい者、外国人ランナーの参加促進

新)パラマラソンの普及啓発

- ・オープン競技・車いすロードレース(8.5km)の開催
2020年3月22日(日) 8:50スタート
- ・前日イベントでの取組
ブラインドマラソン、車いすレーサー体験
ファンランに「車いすの部1.0kmコース」を新設

■多言語エントリーシステム(海外申込専用サイト)の運用

多彩なイベントの開催による魅力アップ

- 徳島ならではの「おもてなし」
 - ・県民ボランティアによるお接待と温かい声援
 - ・徳島の食、文化(阿波藍など)のPR
 - ・地域性のあるステージイベント(阿波おどり等)
- ファンランの開催
 - ・開催日:2020年3月21日(土)
 - ・4.2km、1.5km、1.0kmコースの3部門を開催
 - ・ゲストランナーによるランニング講座を実施
- ランナーへの「癒し」
 - ・足湯、マッサージ、「ランナーズ・クルーズ」の運航等



ランナーをはじめ、ランナーを応援する家族・友人など、誰もが楽しめる大会づくり

大会の魅力アップにより、より多くの方に選ばれる「とくしまマラソン」を実現

担当:にぎわいづくり課

新「徳島 木のおもちゃ美術館(仮称)」構想について

【令和元年度9月補正予算額 11,000千円】

背景

全国初「徳島県県産材利用促進条例」を施行(H25.4)

- 「木とふれあい、木にまなび、木でつながる」
「木育」の推進を位置づけ

取組

「とくしま木づかい県民会議」の設立 (H28.3)

- 県民総ぐるみの木づかい運動の推進
- 県内に「すぎの子木育広場」を設置 (20箇所)



「全国木育サミットin徳島」の開催 (H31.2)

- 「ウッドスタート宣言」の調印
(徳島県と東京おもちゃ美術館)



- 「とくしま木育共同宣言」



各地域へ広がり

- 木育キャラバンin三好 (H31.4)
- 木育フェアin松茂 (R元.8)



意識醸成

「第1回徳島木育サミット」の開催(11月)



人材育成

「木育インストラクター」の養成

新「徳島 木のおもちゃ美術館(仮称)」整備推進事業

拠点整備

「徳島 木のおもちゃ美術館(仮称)」の基本構想策定

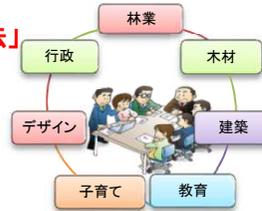
【方針】

全世代が、徳島の木を「まるごと体感」!!
「徳島ならではの」木のおもちゃ美術館を整備



○「専門タスクフォース」の設置

「基本コンセプト」、
「機能」、「運営方法」
などを検討



*林業,木材,建築
教育,子育て,
デザイン等関係者

意見共有

○「東京おもちゃ美術館」と連携

「知識」、「ノウハウ」を活用



* 全国で木育の普及や
「おもちゃ美術館」の整備等をサポート

○「基本構想」の策定

- ①位置づけ
- ②理念
- ③機能
- ④運営方法
- ⑤スケジュール
- ⑥候補地 等



令和3年度末
オープン!

更なる「木育」の推進と、県産材の魅力発信を加速!

担当：林業戦略課

レガシー継承